

2025 年度阪南大学後援会 総会

日時 2025 年 6 月 28 日 (土)

後 援 会 総 会 11:00～11:50

キャリア支援講演会 11:50～12:35

会場 4 号館 1 階 4104 教室

次第

1. 開会

2. 議事

- (1) 第 1 号議案 2024 年度事業報告、決算および監査報告について(1～4 ページ)
- (2) 第 2 号議案 2025 年度役員の選出(案)について(5 ページ)
- (3) 第 3 号議案 2025 年度事業計画(案)について(6～15 ページ)
- (4) 第 4 号議案 2025 年度予算(案)について(16 ページ)
- (5) 第 5 号議案 その他

3. 報告事項

- (1) 2025 年度奨学金受給者の決定について

4. 閉会

【第 2 部】

キャリア支援講演会

「就職環境の変化～保護者に知ってもらいたいこれから求められる力とは」
株式会社学情キャリアサポート部マネージャー 松井 健悟 様

以上

令和 6(2024) 年度 阪南大学後援会事業最終報告

1. 家庭と大学との連携を図る事業(執行額合計: 1,738,478 円/予算額: 2,191,000 円)
 - (1) 後援会総会実施(執行額: 565,100 円)
 - (2) 後援会会報誌の送付(執行額: 889,918 円)
 - (3) Web サイトの運用(執行額: 250,000 円)
2. 教学条件の整備充実、教育事業への支援(執行額合計: 2,655,047 円/予算額: 3,100,000 円)
 - (1) 図書館への(学生用)図書の寄贈(執行額: 1,499,767 円)
 - (2) 海外派遣学生への補助(航空券代とサチャージ料)(執行額: 961,280 円)
 - (3) 日本英語模擬国連参加費補助(執行額: 104,000 円)
 - (4) 学長表彰に伴う報奨制度(執行額: 90,000 円)
3. 課外活動に対する支援(執行額合計: 5,447,020 円/予算額: 6,000,000 円)
 - (1) 全国レベルに達したクラブへのレベル維持を目的とした支援(執行額: 1,500,000 円)
※学生会所属団体として優秀な成績を挙げた団体に対する補助
 - (2) 学外施設使用料等への補助(執行額: 1,072,720 円)
※学生会所属団体および大学登録サークル・同好会の活動に不可欠な施設使用料(公演、演奏会、展示会、発表会、競技会等のための施設の使用料)の補助
 - (3) 大学祭への補助(執行額: 491,860 円)
 - (4) 学生会所属団体および大学登録サークル・同好会の実施する合宿に対する補助(執行額: 753,000 円)
 - (5) 学生のリーダー養成講座に対する補助(執行額: 990,000 円)
 - (6) 新入生歓迎イベント補助(執行額: 0 円)
 - (7) その他課外活動への特別補助(執行額: 0 円)
 - (8) 課外活動公式試合時の指導者出張費に対する補助(執行額: 339,440 円)
 - (9) 自主公演等開催費用への補助(執行額: 300,000 円)
 - (10) 『関西地区以上の公式戦出場における宿泊費補助』について(執行額: 0 円)
4. 就職活動・キャリア教育への支援(執行額: 1,779,950 円/予算額: 2,200,000 円)
 - (1) 就職試験対策受講料学生負担分の補助(執行額: 1,489,950 円)
 - (2) 資格取得者(学長奨励賞対象者)への報奨金の補助(執行額: 290,000 円)
 - (3) その他就職活動支援事業、キャリア教育事業に関する補助(執行額: 0 円)
5. 国際交流活動への支援(執行額合計: 439,582 円/予算額: 1,000,000 円)
 - (1) 日本人学生と外国人留学生在が交流を深める行事等への補助(執行額: 343,582 円)
 - (2) 地域と外国人留学生在が交流を深める事業、行事への補助(執行額: 0 円)
 - (3) 国際交流活動に対する補助(ゼミ・フィールドワークの活動は対象外)(執行額: 0 円)
 - (4) 国際理解語学学習セミナー(執行額: 0 円)
 - (5) TOEIC®受験料の補助(執行額: 96,000 円)
6. 福利厚生に関する援助(執行額合計: 20,451,949 円/予算額: 20,000,000 円)
 - (1) 学資支弁者の死亡による修学継続困難学生への援助(執行額: 3,002,500 円)
学費等の半期分の全額を補助。なお、大学等における修学支援のための法律に基づく授業料減免対象者については、支援区分に応じて減免された残額分を補助する。
 - (2) 奨学金制度(学部奨励金・クラブ奨学金)(執行額: 11,930,000 円)
 - (3) 学研災通学特約の加入補助(執行額: 1,172,750 円)
 - (4) 後援会ゼミ援助費(執行額: 4,274,699 円)
 - (5) 4号館各階女性用トイレに緊急時用生理用品ボックスの設置(無料利用)(執行額: 72,000 円)

7. 卒業記念事業補助(執行額合計 : 5,284,900 円／予算額 : 5,300,000 円)
- 卒業記念品の贈呈(執行額 : 5,284,900 円)
- 2024 年 3 月卒業生対象の卒業アルバム経費
- 2024 年 9 月前期卒業生に対してメールでオーダーできる印鑑を記念品の経費
- ※2025 年 3 月卒業生対象の記念品(卒業アルバムブック作成)の経費は、2025 年度予算で執行。
(卒業アルバムが完成し、郵送する時期が 2024 年 5 月となるため。)
8. 弔慰金(執行額合計 : 180,000 円／予算額 : 160,000 円)
9. その他補助(執行額合計 : 1,257,880 円／予算額 : 2,830,000 円)
- (1) 社会貢献活動に対する補助(執行額合計 : 0 円)
- (2) 学生会主催イベント費用の補助(執行額合計 : 344,247 円)
- 学生主体で、学生同士のつながりを強めるためのイベント開催に対する補助。
- (3) 学部学生主催イベント費用の補助(執行額合計 : 913,633 円)
- 学生主体で、全学部生を対象とした学生同士のつながりを強めるためのイベント開催に対する補助。
10. 特別費(執行額合計 : 12,272,415 円／予算額 : 20,000,000 円)
- (1) 全国大会出場等経費の補助 ※交通費・人件費を除く諸経費の補助(執行額 : 5,524,483 円)
- (2) 世界大会出場等経費の補助 ※交通費・人件費を除く諸経費の補助(執行額 : 1,200,000 円)
- (3) 全国大会等応援に伴う費用の補助(執行額 : 381,500 円)
- (4) 全国大会出場選手等の食費補助(執行額 : 1,136,518 円)
- (5) 応援バス等の費用補助(執行額 : 611,030 円)
- (6) 文化会クラブ全国大会出場に伴う参加費、交通費、宿泊費の補助(執行額 : 1,018,884 円)
- (7) 100 円ランチの実施(執行額 : 600,000 円)
- (8) 教務部特別事業「Re・デザインプロジェクト」の実施(単年度)(執行額 : 1,800,000 円)
11. 特別会計への組み入れ金(執行額合計 : 3,000,000 円／予算額 : 3,000,000 円)
- 周年事業への積立て

以上

2024年度阪南大学後援会（一般）会計決算書

自 2024年4月1日 至 2025年3月31日

(単位 円)

収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
後援会費収入	42,780,000	40,620,000	-2,160,000
受取利息	1,000	26,807	25,807
前年度繰越金	65,736,097	65,736,097	0
収入の部合計	108,517,097	106,382,904	-2,134,193

(単位 円)

支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
教育研究経費支出	42,781,000	39,234,806	3,546,194
消耗品費支出	36,000	0	36,000
旅費交通費支出	250,000	183,800	66,200
通信運搬費支出	1,000,000	596,968	403,032
印刷製本費支出	400,000	644,350	-244,350
支払報酬費支出	150,000	0	150,000
委託料支出	250,000	250,000	0
諸税手数料支出	5,000	0	5,000
会議費支出	50,000	63,360	-13,360
厚生補導費支出	40,590,000	37,496,328	3,093,672
厚生補導費支出明細	40,590,000	37,496,328	3,093,672
(教育事業補助)	3,100,000	2,655,047	444,953
(課外活動補助)	6,000,000	5,447,020	552,980
(就職活動補助)	2,200,000	1,779,950	420,050
(国際交流活動補助)	1,000,000	439,582	560,418
(福利厚生補助)	20,000,000	20,451,949	-451,949
(卒業記念事業補助)	5,300,000	5,284,900	15,100
(弔慰金)	160,000	180,000	-20,000
(その他補助)	2,830,000	1,257,880	1,572,120
備品費支出	0	0	0
雑費支出	50,000	0	50,000
特別費	20,000,000	12,272,415	7,727,585
その他の支出	1,600,208	1,600,208	0
2023年度末未払金	1,600,208	1,600,208	0
特別会計繰出金	3,000,000	3,000,000	0
翌年度繰越金	41,135,889	50,275,475	-9,139,586
支出の部合計	108,517,097	106,382,904	2,134,193

会計

高橋洋子



2025年 5月 8日

監査の結果、上記の通り相違ないことを認めます。

会計監査

谷戸口 一藏



山城亜希子



2024年度阪南大学後援会（特別）会計決算書

自 2024年4月1日 至 2025年3月31日

(単位 円)

収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
受取利息	300	12,209	11,909
一般会計繰入金	3,000,000	3,000,000	
前年度繰越金	24,945,894	24,945,894	0
収入の部合計	27,946,194	27,958,103	11,909

(単位 円)

支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
翌年度繰越金	27,946,194	27,958,103	-11,909
支出の部合計	27,946,194	27,958,103	-11,909

会計

高橋 洋子



2025年 5 月 15 日

監査の結果、上記の通り相違ないことを認めます。

会計監査

江内 口一藏



山城 亜希子



2025 年度役員の選出(案)について

役職	氏名
会長	松本 抄矢香
副会長	大倉 隆生
会計	谷内口 一蔵
会計監査	山城 亜希子

<参考>

2025 年度大学幹事名簿 ※阪南大学後援会会則第 12 条第 2 項に基づく構成員

役職	氏名
学生部長	新谷 雅美
教務部長	矢倉 研二郎
経済学部長	高橋 慎二
経営学部長	早乙女 誉
総合情報学部長	三好 哲也
国際学部長	井上 裕司
大学事務局長	吉田 泰作
教務事務部長	花光 清
学長室長	中島 功
学生事務部長	浅井 輝
教務課長	角井 康寛
学生支援課長	高橋 慶一

2025(令和7)年度事業計画(案)について

1. 家庭と大学との連携を図る事業(予算額：2,191,000円)(継続)
 - (1) 後援会総会実施
 - (2) 後援会会報誌の送付
 - (3) Webサイトの運用
2. 教学条件の整備充実、教育事業への支援(予算額：3,100,000円)(継続)
 - (1) 図書館への(学生用)図書の寄贈
 - (2) 海外派遣学生への補助(航空券代とサチャージ料)
 - (3) 日本英語模擬国連参加費補助
 - (4) 学長表彰に伴う報奨制度
3. 課外活動に対する支援(予算額：6,000,000円)(継続)
 - (1) 全国レベルに達したクラブへのレベル維持を目的とした支援
※学生会所属団体として優秀な成績を挙げた団体に対する補助
 - (2) 学外施設使用料等への補助
※学生会所属団体および大学登録サークル・同好会の活動に不可欠な施設使用料(公演、演奏会、展示会、発表会、競技会等のための施設の使用料)の補助
 - (3) 大学祭への補助
 - (4) 学生会所属団体および大学登録サークル・同好会の実施する合宿に対する補助
 - (5) 学生のリーダー養成講座に対する補助
 - (6) 新入生歓迎イベント補助
 - (7) その他課外活動への特別補助
 - (8) 課外活動公式試合時の指導者出張費に対する補助
 - (9) 自主公演等開催費用への補助
 - (10) 『関西地区以上の公式戦出場における宿泊費補助』について
4. 就職活動・キャリア教育への支援(予算額：2,200,000円)
 - (1) 就職試験対策受講料学生負担分の補助
 - (2) 資格取得者(学長奨励賞対象者)への報奨金の補助
 - (3) その他就職活動支援事業、キャリア教育事業に関する補助
5. 国際交流活動への支援(予算額：1,000,000円)(継続)
 - (1) 日本人学生と外国人留学生在が交流を深める行事等への補助
 - (2) 地域と外国人留学生在が交流を深める事業、行事への補助
 - (3) 国際交流活動に対する補助(ゼミ・フィールドワークの活動は対象外)
 - (4) 国際理解語学学習セミナー
 - (5) TOEIC®受験料の補助
6. 福利厚生に関する援助(予算額：20,000,000円)(継続)
 - (1) 学資支弁者の死亡による修学継続困難学生への援助
学費等の半期分の全額を補助。なお、大学等における修学支援のための法律に基づく授業料減免対象者については、支援区分に応じて減免された残額分を補助する。
 - (2) 奨学金制度(学部奨励金・クラブ奨学金)
 - (3) 学研災通学特約の加入補助
 - (4) 後援会ゼミ援助費
 - (5) 4号館各階女性用トイレに緊急時用生理用品ボックスの設置(無料利用)

7. 卒業記念事業補助(予算額 : 5,300,000 円) (継続)
- 卒業記念品の贈呈
2025 年 3 月卒業生対象の卒業アルバム経費
2025 年 9 月前期卒業生に対してメールでオーダーできる印鑑を記念品の経費
※2026 年 3 月卒業生対象の記念品(卒業アルバムブック作成)の経費は、2026 年度予算で執行。
(卒業アルバムが完成し、郵送する時期が 2025 年 5 月となるため。)
8. 弔慰金(予算額 : 160,000 円) (継続)
9. その他補助(予算額 : 3,000,000 円) (継続)
- (1) 社会貢献活動に対する補助
 - (2) 学生会主催イベント費用の補助
学生主体で、学生同士のつながりを強めるためのイベント開催に対する補助。
 - (3) 学部学生主催イベント費用の補助
学生主体で、全学部生を対象とした学生同士のつながりを強めるためのイベント開催に対する補助。
10. 特別費(予算額 : 20,000,000 円) (継続)
- (1) 全国大会出場等経費の補助 ※交通費・人件費を除く諸経費の補助
 - (2) 世界大会出場等経費の補助 ※交通費・人件費を除く諸経費の補助
 - (3) 全国大会等応援に伴う費用の補助
 - (4) 全国大会出場選手等の食費補助
 - (5) 応援バス等の費用補助
 - (6) 文化会クラブ全国大会出場に伴う参加費、交通費、宿泊費の補助
11. 特別会計への組み入れ金(予算額 : 3,000,000 円) (継続)
- 周年事業への積立て

以上

2025 年度 阪南大学後援会からの補助費の内容と支給基準(案)

1. 家庭と大学との連携を図る事業

2. 教学条件の整備充実、教育事業への支援

(1) 図書館への(学生用)図書の寄贈

- 対象
図書館により選定された就職活動、資格取得等参考書・問題集、視聴覚資料、学生選書ツアーによる選書本等の購入費用(電子書籍含む)
- 基準
150 万円を上限として補助する。

(2) 海外派遣学生に対する補助

- 対象
大学が海外に派遣した学生(阪南大学が協定を結ぶ外国の大学または、企業へ派遣する学生等)
- 基準
航空券代とサーチャージ料の合計額の 50%相当の金額を補助(上限 100,000 円/人)する。
ただし、本学を除く他団体からの補助がある場合は対象外とする。

(3) 日本英語模擬国連への参加費補助

- 対象
模擬国連参加学生
- 基準
模擬国連の参加費を補助(上限 25,000 円/人)する。※他団体からの補助がある場合は対象外とする。

(4) 学長表彰に伴う報奨制度

- 対象
学長が表彰する学生
- 基準
学長が表彰する報奨金の半額を補助する。

3. 課外活動に対する支援

(1) 全国レベルに達したクラブへのレベル維持を目的とした支援

- 対象
学生会所属団体として前年度優秀な成績を挙げた団体
- 基準
 - ① 前年度、全国大会出場の場合は今年度の活動維持費として 50 万円を上限として補助する。
 - ② 前年度、公式戦 3 位(1 部リーグ)以上の成績を挙げた場合は、今年度の活動維持費として 25 万円を上限として補助する。
 - ③ 個人競技については①②の半額を上限とし、所属団体に今年度の活動維持費として補助する。
※活動維持費の使途は大学・学生会から援助されない活動に不可欠な費用とする(強化合宿・遠征費および用具代等)。

(2) 学外施設使用料等への補助

➤ 対象

文化会クラブ：公演、演奏会、展示会、発表会等の学外イベント

体育会クラブ：大学施設では適切な練習ができない場合の学外練習場借用

➤ 基準

施設使用料が1回あたり3万円を超える場合、使用料の50%補助(上限5万円/回、年4回まで)

※補助を受ける団体は、学外施設を利用する活動において、以下の【文化会クラブ】【体育会クラブ】の各条件を満たすことを条件とする。

➤ 条件

【文化会クラブ】

次の①～③をすべて満たすこと。

① 学外イベント開催の2ヶ月前までに、学生支援課に事前申請を行う。

② 学外イベント開催の1ヶ月前までに、イベントの告知を学内掲示板・ビラ配り・SNS等で行う。

③ 学外イベント終了後に「学生団体代表者会議」にて成果報告を行う。

※成果報告会は、活動の成果・反省点・参加者の声などを報告し、学外活動を在学生全体に広め、今後の新規参加を促す内容とする。

【体育会クラブ】

次の①②をすべて満たすこと。

① 借用希望日の2週間前までに、学生支援課に事前申請を行う。

② 借用した日から1週間以内に、借用当日の練習風景やクラブ活動の魅力をSNS及び大学HPに掲載する。

(3) 大学祭への補助

➤ 対象

大学祭の活動費

➤ 基準

50万円を上限として補助する。※講演料やイベント開催に必要な経費の補助

(4) 学生会所属団体および大学登録サークル・同好会の実施する合宿に対する補助

➤ 対象

学生会所属団体および大学登録サークル・同好会として合宿を実施した団体

➤ 基準

合宿参加期間中の補助として1人あたり3,000円を補助する。ただし、申請は年2回までとする。

(5) 学生のリーダー養成講座に対する補助

➤ 対象

学生会が行う学生リーダー養成のための研修開催への補助

➤ 基準

100万円を上限として補助する。

- (6) 新入生歓迎イベント補助
- 対象
学生会が行う新入生歓迎イベントの講演料やイベント開催に必要な経費の補助
 - 基準
100 万円を上限として補助する。
- (7) その他課外活動への特別補助
- 対象
課外活動関係のうち、上記(1)から(4)に該当しないもので、大学の名声を高める社会的善行、功労等のあった団体、あるいは個人とする。
 - 基準
運営委員会において適宜検討する。
- (8) 課外活動公式試合時の指導者出張費に対する補助
- 対象
強化クラブ以外の試合同行のための旅費交通費
 - 基準
公式試合同行の旅費交通費のうち、大学支給の年間 6 万円を超えた費用について、6 万円を上限として支給する。
- (9) 自主公演等開催費用への補助
- 対象
学生会所属団体および大学登録サークル・同好会が公演、演奏会、展示会、発表会、競技会等を開催する際にかかる費用の半額を補助する。(大道具・照明・音響・ビデオ撮影等)
 - 基準
1 回につき上限は 30 万円までとし、申請は年 2 回までとする。
 - 条件
『学外施設使用料等への補助』に記載の条件に準ずる。
- (10) 『関西地区以上の公式戦出場における宿泊費補助』について
- 対象
登録メンバー＋マネージャー(最大 3 名)の宿泊費
 - 基準
次の①～⑤すべてに該当する体育会・文化会クラブで、1 人あたり 1 回につき最大 3,000 円補助する。
 - ① 都道府県連盟及び学生連盟が主催する関西地区以上の公式戦・コンクール等に出場する。
 - ② 後援会及び他団体の宿泊費補助を受けることができない。
 - ③ 公式戦・コンクール等の開催当日の出発時間が公共交通機関を利用した場合に午前 8 時以前となる。
 - ④ 試合前日に試合会場近隣の宿泊施設に宿泊する。
 - ⑤ 次に掲げるいずれかに該当している。
 - 試合またはコンクール等の会場が大阪近郊圏外(西明石-和歌山-桜井-天理-奈良-京都-宝塚を結ぶ圏外)である。
 - 公共交通機関を利用した移動で、会場到着まで概ね 2 時間程度を要する(出発地点は河内天美駅とする)。

4. 就職活動・キャリア教育への支援

(1) 就職活動試験対策講座受講料学生負担分の補助

- 対象
 本学指定の就職活動試験対策講座を受講した学生
- 基準
 学生負担受講料の全額を補助する。

(2) 資格取得者(学長奨励賞対象者)への報奨金の補助

- 対象
 学長奨励賞の対象資格を取得した学生
- 基準
 学長が表彰する報奨金の半額を補助する。ただし、補助総額の上限を 200 万円とする。

(3) その他就職活動支援事業、キャリア教育事業に関する補助

- 対象
 本学において実施されている就職活動支援事業、キャリア教育事業に係わる経費を補助する。
- 基準
 運営委員会において適宜検討する。

5. 国際交流活動への支援

(1) 日本人学生と外国人留学生在が交流を深める行事への補助

- 対象
 本学の日本人学生と外国人留学生在が共に参加し、交流を深める行事
- 基準
 行事に係わる交通費、保険代、その他経費補助する。(原則として飲食代は除く)

(2) 地域と外国人留学生在が交流を深める事業、行事への補助

- 対象
 本学外国人留学生在が地域と交流を深めるために参加する行事
- 基準
 飲食代を除いた行事に係わる経費を補助する。ただし、1 行事につき上限を 10 万円とする。

(3) 国際交流活動に対する補助(ゼミ・フィールドワークの活動は対象外)

- 対象
 国際交流活動に参加した者
- 基準
 1 人につき 1 万円を補助する。

(4) 国際理解語学学習セミナー実施委託費用に対する補助

- 対象
 学生支援課が開講するセミナー
- 基準
 国際交流委員会が承認した国際理解語学学習セミナー実施に伴う委託に必要な経費

6. 福利厚生に関する援助

(1) 学費支弁者の死亡による修学継続困難学生への援助

- 対象
学費支弁者の死亡による修学継続が困難な学生
- 基準
学費等の半期分の全額を補助する。なお、大学等における修学支援のための法律に基づく授業料減免対象者については、支援区分に応じた減免後の学費等を補助する。

(2) 奨学金制度

- 学部奨励金
給付金額(年額)：30,000 円、50,000 円、100,000 円、200,000 円、400,000 円
対象：2～4 年次生で各学部が定めた基準に該当する人物優秀な者(単年度申請)
- クラブ奨学金
給付金額(年額)：(A タイプ)400,000 円、(B タイプ)200,000 円
対象：各学年各タイプ2 名 合計 16 名(A タイプ：8 名、B タイプ：8 名)(単年度申請)

(3) 学研災通学特約の加入

本学に在籍する学部学生で、全員加入済の学研災に加えて、通学中の事故を補償する特約分を補助する。

(4) 後援会ゼミ援助費

- 対象
学部学生(ゼミ科目の受講者に対して)
- 基準
ゼミ授業の懇親を深めるために開催される、懇親会やゼミコンパの開催費用等について、年間1 名あたり 2,000 円の補助を行う。

(5) 4 号館各階トイレに緊急時用生理用品ボックスの設置(無料利用)

緊急時用として生理用品(簡易ナプキン)を4 号館女子トイレの各フロアに設置する。

7. 卒業記念事業補助

(1) 卒業記念品の贈呈

- 対象
3 月卒業生、9 月卒業生
- 基準
卒業生には1 人当たり 5,000 円を上限として記念品を贈呈する。
2025 年3 月卒業生には、卒業アルバムを贈呈し、2025 年9 月卒業生には、記念品を贈呈する。

8. 弔慰金

- 対象
学生本人及び父母あるいは学費支弁者の死亡に対しての弔慰金
- 基準
一律 20,000 円

9. その他補助

(1) 社会貢献活動に対する補助

- 対象
大学が認めた社会貢献活動を行った学生(学生委員会の承認)
- 基準
1件1名につき5,000円を限度して必要経費を補助する。

(2) 学生会主催イベント費用の補助

- 対象
学生同士のつながりを深めるためのイベント開催費用
- 基準
80万円を上限として補助する。

(3) 学部学生主催イベント費用の補助

- 対象
学部学生主体で運営するイベント開催費用として実施計画が提出されたもの。
- 基準
1学部50万円を上限として補助する。

10. 特別費(全国大会及び世界大会出場の援助資格については注1・注2を参照)

(1) 全国大会出場等経費の補助(交通費・人件費を除く)

- 対象
全国規模の競技大会等へ出場する選手(補欠選手を含む)
- 基準
大会出場に必要な諸経費につき、1大会1人あたり50,000円を上限として補助する。

※体育会クラブで所属リーグの下部リーグで全国大会に出場した場合及び文化会クラブで関西レベルの選考会が無い場合は、1人あたり20,000円とする。

※強化クラブは、同一年度内に4回まで申請可能とする。

※強化クラブ以外のクラブは、同一年度内に2回まで申請可能とする。

※1回あたり最大1,650,000円を上限とする。

※本学および他団体から諸経費の補助がある場合は対象外とする。

※国民スポーツ大会など、都道府県からの招聘に応じて参加する大会については対象外とする。

(2) 世界大会出場等経費への補助(交通費・人件費を除く)

- 対象
世界規模の競技大会等へ出場する選手(補欠選手を含む)※(注2)に記載の援助資格を参照。
- 基準
 - ① 大会出場に必要な諸経費につき、1大会1人あたり100,000円を上限として補助する。
 - ② 上記①に加えて、大学から会場所在地までの往復運賃の半額を補助する。
ただし、同一年度内で申請できるのは2回を限度とする。(強化クラブは除く)
なお、他団体から補助がある場合は対象外とする。

(3) 全国大会等応援に伴う費用の補助

➤ 対象

全国規模の競技大会等へ出場する学生会所属の団体及び個人

➤ 基準

応援に必要なグッズ(消耗品)制作に係る費用について、20万円を上限に補助する。

※申請は、1年に1回を限度とする。

※本補助制度を利用して制作したグッズは、無料で配布すること。(販売禁止)

(応援グッズ例)スティックバルーン、メガホン、タオル、Tシャツ、横断幕、のぼりなど

(4) 全国大会、世界大会出場選手等の食費補助

➤ 対象

予選大会等を経て全国・世界規模の競技大会等へ出場する学生会所属の団体及び個人

➤ 基準

大学、学生会からの補助に加えて支出が必要な場合は1人1日2,000円を限度として補助する。

(5) 応援バス等の費用補助

➤ 対象

全国規模の競技大会等へ出場する学生会所属の団体及び個人

➤ 基準

学生会補助による応援バスの同等費用を補助する。

※応援バス等の特別費予算執行については、全国大会に出場が決定した時点で後援会長の承認のもとに柔軟に予算執行することとする。

(6) 文化会クラブ全国大会出場に伴う参加費、交通費、宿泊費の補助

➤ 対象

コンテスト及び発表を目的とした全国規模の大会等へ出場する学生会所属の団体及び個人

➤ 基準

大会出場の際に必要な参加費、交通費、宿泊費を補助する。

※同一年度内で申請できるのは2回を限度とする。(強化クラブは除く)

※本学および他団体から諸経費の補助がある場合は対象外とする。

(注1) 全国大会出場援助資格について、以下のとおりとする。

① 強化クラブは、予選等の選考会が無い場合でも全国大会と称する大会に出場する場合は、援助資格対象とする。

② 強化クラブ以外の体育会に所属するクラブは、関西レベルである程度勝ち抜いたうえで援助資格の対象となることを前提条件とする。

例) 関西大会2回戦敗退でも全国大会に出場できるなどの場合は援助の対象としない。

その他の場合は以下の基準とする。

➤ 予選等がない場合は前年度3位以内

➤ 関西大会等ベスト4以上 → 従来援助基準の全額

➤ 関西大会等ベスト5～16 → 従来援助基準の半額

③ 強化クラブ以外の文化会に所属するクラブについては、関西レベルで選考された結果、全国大会に出場する場合は、援助資格の対象とする。その他の場合は、以下の基準とする。

➤ 関西レベルの選考会でベスト4以上 → 従来援助基準の全額

➤ 関西レベルの選考会が無い場合 → 従来援助基準の半額

(注2) 世界大会出場援助資格については、各クラブ所属の連盟等から該当の世界大会出場の招聘状がある場合のみ援助資格対象とする。

11. 特別会計への組み入れ金

周年事業への積立金として、300 万円を特別会計口座に組み入れる。

以上

2025年度阪南大学後援会(一般)会計予算書

自 2025年4月1日 至 2026年3月31日

収入の部

(単位:円)

項目	本年度予算額	前年度予算額	差額	備考
後援会費	43,410,000	42,780,000	630,000	5月1日現在 4,341人(留学生除く)
受取利息	26,000	1,000	25,000	
前年度繰越金	50,275,475	65,736,097	▲ 15,460,622	
収入の合計	93,711,475	108,517,097	▲ 14,805,622	

支出の部

(単位:円)

科目	本年度予算額	前年度予算額	差額	備考
教育研究経費支出				
消耗品費	36,000	36,000	0	
旅費交通費	250,000	250,000	0	
通信運搬費	830,000	1,000,000	▲ 170,000	
印刷製本費	600,000	400,000	200,000	
支払報酬費	100,000	150,000	▲ 50,000	
委託料	250,000	250,000	0	ゼミ援助費を厚生補導費に移管
諸税手数料	5,000	5,000	0	
会議費	70,000	50,000	20,000	
厚生補導費	40,760,000	40,590,000	170,000	
備品費	0	0	0	
雑費	50,000	50,000	0	
小計	42,951,000	42,781,000	170,000	
特別予算(特別費)	20,000,000	20,000,000	0	各クラブ全国大会出場補助
その他の支出				
2022年度末未払金	0	1,600,208	▲ 1,600,208	
2023年度末未払金	0	0	0	
特別会計繰出金	3,000,000	3,000,000	0	
翌年度繰越支払資金	27,760,475	42,736,097	▲ 14,975,622	
支出の合計	93,711,475	108,517,097	▲ 16,405,830	

厚生補導費明細

項目	本年度予算額	前年度予算額	差額	備考
教育事業補助	3,100,000	3,100,000	0	
課外活動補助	6,000,000	6,000,000	0	
就職活動補助	2,200,000	2,200,000	0	
国際交流活動補助	1,000,000	1,000,000	0	
福利厚生補助	20,000,000	20,000,000	0	ゼミ援助費
卒業記念事業補助	5,300,000	5,300,000	0	
弔慰金	160,000	160,000	0	
その他補助	3,000,000	2,830,000	170,000	学部学生イベント
合計	40,760,000	40,590,000	170,000	

2025年度阪南大学後援会(特別)会計予算書

自 2025年4月1日 至 2026年3月31日

収入の部

(単位:円)

項目	本年度予算額	前年度予算額	差額
前年度繰越金	27,958,103	24,945,894	3,012,209
一般会計繰入金	3,000,000	3,000,000	0
受取利息	11,000	300	10,700
合計	30,969,103	27,946,194	3,022,909

支出の部

(単位:円)

科目	本年度予算額	前年度予算額	差額
予備費(銀行手数料等)	0	0	0
翌年度繰越金	30,968,103	27,946,194	3,021,909
合計	30,969,103	27,946,194	3,022,909

阪南大学模擬国連 HUMUN 2024 報告書



【開催概要】

イベント名： 第7回 阪南大学模擬国連

(HUMUN: Hannan University Model United Nations) 2024

開催日程： 令和6年12月6日（金）～8日（日）

開催時間：

- 12月6日（金）17:00～20:00
- 12月7日（土）・8日（日）10:00～19:00

開催場所： 阪南大学

50周年記念館

- 4階 記念ホール
- 3階・2階 スチューデントコモンズ
- 4号館 1階・コモンスペース

【開催内容】

令和6年12月6日から8日にかけて、「第7回 阪南大学模擬国連（HUMUN）2024」を開催いたしました。

本イベントには、阪南大学および阪南大学高等学校からの参加者を含め、総勢94名の学生が参加いたしました。参加者は、各国代表や議長、報道関係者等の役割を担い、実際の国連会議さながらに英語での討議を行いました。

今年度のテーマは、**「ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化を行う」（SDGs 目標5）**とし、参加者はこのテーマに沿った課題に対して多角的に議論を行いました。最終的には、グループごとに導き出した解決策を英語にてプレゼンテーションいたしました。

さらに、円滑な議論や交流を促進するために、初日にウェルカムパーティーおよびチームビルディング活動も実施し、学生同士の連携が深まりました。





【プログラムの特徴】

- 企画・運営： 本イベントは阪南大学の学生によって企画・運営されており、学生主体の教育的取り組みとして位置づけられています。
- 教育的要素： 模擬国連形式を通して、グローバル課題に対する知見を深めるだけでなく、英語でのディスカッション能力、発信力、協働性を育成する機会となっております。
- 独自の工夫： HUMUN では、レゴ®シリアスプレイ® を活用したグループワークを導入し、参加者の発想力や表現力を高める工夫を行っております。

- 成果： イベント最終日には、学生たちから積極的な発言や創造的な提案が多く見られ、本イベントの目的である主体的な学びと国際的視野の育成という点において、大きな成果を上げることができました。



【謝辞】

本イベントの開催にあたりまして、阪南大学後援会の皆様より多大なるご支援を賜りましたこと、心より御礼申し上げます。

今後とも学生の成長と国際理解の深化に資する活動を推進してまいりますので、引き続きご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。





【参加学生の役割と運営体制】

阪南大学模擬国連（HUMUN）では、学生一人ひとりの背景や関心、得意分野に応じて多様な参加形態を用意しています。より多くの学生が自分に合った形で参加できるように、以下のような工夫を行っております。

会議室の構成については、

- 英語のみを使用する会議室
- 英語と日本語を併用する会議室
- 日本語のみで行う会議室

など、言語レベルや目的に応じたルームを設けています。

また、レゴ®シリアスプレイ®会議室では、手を動かしながら思考を深めるというユニークなアクティブラーニングの手法を体験でき、これまでにない新しい学びの機会となっています。

さらに、ジャーナリズムや文章作成、イラスト等に興味を持つ学生は、記者としてイベントに参加しました。

学生たちは、新聞の企画立案から参加者へのインタビュー、記事の執筆、さらにはオリジナルイラストの制作までを担当し、総合的な編集活動を行いました。

その成果として制作された「**HUMUN 2024 新聞最新版**」は、イベントの雰囲気や議論の内容を生き生きと伝える内容となっています。

マーク・シーハン 教授（国際コミュニケーション学科）

HUMUN レゴ®シリアスプレイ®ファシリテーターからのコメント

HUMUN 2024 に参加したすべての学生をととても誇りに思います。

今年は、高校生の参加という新しい試みや、ジェンダー平等と女性・女児のエンパワメント（SDGs 目標 5）というテーマのもと、参加者たちが創造的な解決策を提案するなど、新たな要素が加わりました。

会議は 6 つのルームに分かれ、それぞれ経験豊富な議長が会議の進行を担当し、円滑な議論が行われました。

また、学生たちは、企画チーム、広報チーム、代表者サポートチームなどで協力し、素晴らしいチームワークと創造力を発揮しました。

参加者は、複雑な国際的課題に対して新しい視点から取り組み、ジェンダー平等を推進する前向きな提案を行いました。HUMUN 2024 は、学生たちが学び、成長し、リーダーシップを発揮するためのとても有意義な機会となりました。

【参考：公式ウェブサイト掲載見出し】

「第 7 回阪南大学模擬国連（HUMUN）2024 が開催され、94 名の学生が参加！」

https://www.hannan-u.ac.jp/faculties/i_communication/linfi00000o2fji.html

HUMUN 2024（阪南模擬国連）ダイジェスト動画

<https://www.youtube.com/watch?v=8k5m9puyhFs>

THANK YOU ALL FOR COMING !!



HUMUN2024

2024
12
SUN

今回は 2024年 HUMUNにご参加いただきありがとうございました。今回のイベントを通じて国際問題についてこれからも関心を深めていただければ幸いです。また来年もお会いしましょう！

Day 1

2024年12月6日~8日に7度目のHUMUN（阪南大学模擬国連）が開催された。今年は神戸学院大学の学生だけでなく、高校生も参加し、総勢約90人の規模で開催された。参加者の中には緊張している人も多く見られたが、1日目の立食パーティーでは多くの学生が親睦を深め合っていた。2日目,3日目においては、「ジェンダー平等を実現しよう」の解決策を立てていた。



EDS部 顧問
Dr. Sheehan

This marks the 7th annual Hannan University Model United Nations. Each year, students build on the successes of previous events, introducing fresh ideas and innovations to create a unique and meaningful experience for all participants. This year, planning began in May, with students dedicating themselves tirelessly up to the opening ceremony on Day 1 to ensure a fulfilling and rewarding experience for everyone involved.



Day 2

程よい緊張感と共にスタート

2日目はまず、各国の情報共有が行われていた。1日目の賑やかな雰囲気とは異なり、いい緊張感をもって会議を進めることが出来ていると参加者の声があがっていた。



Day 3

作業没頭！追われる時間

3日目の中盤から参加者の疲れが見えたが、どのルームも諦めずに意見を出し合い、各国が協力し解決策を出している姿が非常に印象的であった。



THANK YOU ALL FOR COMING !!



HUMUN2024

2024
12
SUN

日本語

異なる視線からの意見

『グループ内では、素直に意見交換でき、繊細なトピックであるジェンダー問題について話し合うことが出来ていると思います。話し合う過程で、男性/女性で違う視点から問題を見ることが出来ています。』と参加者は語っていた。



ミックス

充実した議論の場

『チェアーのサポートもあり、大学生や高校生が積極的に参加し、意見を活発的に言い合うことが出来ています。現在は、同性結婚に関して各国が納得できる案を作成するのに苦戦していますが、充実した空間です。』と話していた。



英語

英語での議論に奮闘

初めての参加者も積極的に議論に参加していた。英語で表現する難しさはありながらも、『柔らかい雰囲気落ちていて話すことが出来ました。トピックが普段から耳にする内容だったので、議論に入りやすかったです。』と参加者は話していた。



LEGO

創造力で問題解決

レゴを用いて積極的に議論が行われた。『高校生も含め、活発に会話ができて良い雰囲気です。最初は、発表が苦手でしたが、成長の機会と感じています。レゴを通じて考えを表現し、他の人の表現の仕方を知れるのが楽しいです！それがレゴルームの魅力だと思います。』と話していた。



EDS部員より

HUMUN（阪南大学模擬国連）にご参加いただき、ありがとうございます。EDS部一同、お礼申し上げます。皆さんのアイデアや取り組む姿勢に私たちもすごく刺激をいただきました！これからも本イベントを通じて意見交換や新たな視点を学ぶ場を提供できればと考えております。皆さんのさらなるご活躍を心より応援しております！



EDS部 代表

戸島 愛理

ご参加いただき、ありがとうございました！今年は、神戸学院大学の学生さんだけでなく高校生の方も参加していただき、総勢90人の参加者の方でHUMUNを開催することが出来ました。部員、ご参加いただいた皆様、先生方、全員のご協力あっての成功だと思います。私にとっては、最後のHUMUNですが、引き続き、阪南大学模擬国連並びにEDS部をよろしくお願いいたします。



EDS部 副代表

野原 万由果

3日間ありがとうございました。今年は副代表として、1年間HUMUNを準備してきましたが、今年も全員で3日間の走りぬくことができ、凄く嬉しく思っています。ご参加いただきまして、ありがとうございます！来年もぜひまた皆さんとお会いしたいと思っています！EDS部一同、心よりお待ちしております！

